

説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)










様へ

月日	月 日	月 日	月 日	月 日
経過	入院日 (手術前日)	当日(術前)	当日(術後)	術後1日目
目標	○心身ともに安定した状態で手術を受けられる ○治療に対する不安を表出できる		○麻酔合併症がない ○呼吸困難がない ○出血がない ○疼痛がない	○離床できる ○ストレッチが積極的にできる
検査	・身長、体重測定 動脈採血			採血 レントゲン撮影
食事	・夕食後絶食、21時以後絶飲食 ・経口補水液は、麻酔科の指示で服用	絶飲食	屋より食事再開	
処置・観察	朝食は自宅 リストバンドを装着します(退院日まで) 弾性ストッキングのサイズを測定し、お渡しします 手術部位のマーキングをします	点滴の針を留置します 時間になれば、看護師が手術室にご案内します	手術後以下の挿入物装着物があります ・酸素マスク → 酸素チューブに変更 ・心電図モニター → 取り外します ・点滴の管 → 取り外します ・創部の管(ドレーン) → 取り外します ・尿道カテーテル → 取り外します ・フットポンプ → 取り外します(血栓予防) (必要時) 吸入します	創部を観察、処置を行います
状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります				
点滴・内服	持参薬、お薬手帳を看護師にお渡お渡しください 眠前下剤を服用します	手術室で点滴を開始します(手術が午後の場合は、病棟で点滴を開始します)	以下の点滴を行います ・持続点滴 ・鎮痛剤	以下を内服します ・消炎鎮痛剤
行動・リハビリ	シャワー浴洗髪をします	以下の手術準備をします ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリ、時計等の取り外し	午前中全身清拭し、手術着からパジャマに着替えます	尿道カテーテル抜去後は、トイレで排尿できます
説明	制限はありません呼吸練習を行います 医師・麻酔科医より説明(外来又は入院時) ・治療計画について ・手術について ・麻酔について 病棟・手術室・集中治療室看護師より説明 ・入院生活について(パスシートを使用) ・手術について ・集中治療室について 薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について	翌朝までベッド上安静です 医師より説明 ・手術結果について 看護師より説明 ・術後の注意点について ・安静について ・下肢運動について ・痛み止めの使用方法について	付き添いのもと、リハビリを開始します(歩行訓練、呼吸練習)	

\* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

\* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

\* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日～ 月 日	月 日	月 日
経過	術後 3 日目		術後 4～5 日目	
経過	術後 6 日目			退院日 (術後 7 日目)
目標	○麻酔合併症がない○呼吸困難がない○出血がない○疼痛がない ○胸の管が抜ける ○離床できる ○ストレッチが積極的にできる			○退院後の療養生活について理解できる
検査	レントゲン撮影	レントゲン撮影	レントゲン撮影	
食事	制限はありません			退院日は朝食のみ
				
処置・観察	以下の挿入物があります ・創部の管 → 術後 2～3 日で抜去します (空気漏れがある場合は、止まるまで留置します)			退院時にリストバンドを外します
	 創部を観察、処置を行います →			
	(必要時) 吸入します →			
状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります				
点滴・内服	 以下を内服します ・消炎鎮痛剤 →			
行動・リハビリ	 創部の治癒状況に合わせてシャワー浴を再開します (週 3 回、病棟毎で日が異なります) →			 (退院日) 朝食後退院です
	 リハビリを継続します (歩行訓練、呼吸練習) →			
説明	 医師より説明 ・退院後の治療計画、療養上の留意点について   看護師より説明 ・退院後の療養生活について (退院療養計画をお渡しします)			

